



輝いている人

「絶対負けないぞ」という
気持ちで跳んだ

各都道府県代表の精鋭が集まる全国小学生陸上競技交流大会の男子走り幅跳びで優勝したのが網干汰一くん（総社北小学校6年）だ。8月27日、横浜市の日産スタジアムで開かれた同大会に県代表として出場。日本学童記録にあと17cmに迫る5.57mの好記録で優勝の栄光をつかんだ。決勝は6回の試技で争われた。網干くんは3回目まででトップに立つ。その後ほかの選手が記録を伸ばし順位を落とすも、「絶対負けないぞ」という気持ちで跳んだ5回目まで再びトップに。6回目を跳ぶ前に優勝が決まった。最後の試技で飛び出した5.57m。自己ベストを大きく上回る跳躍だった。「とても緊張したけど、最後まで諦めずに戦え、自己ベストで優勝でき、最高にうれしかった」。跳び終えた直後、ふいに涙が。ほつとしたのと同時にうれしさがこみ上げた。実は男子1000mでもこの大会への出場権を得ていたが、一人1種目の大会規定により走り幅跳びを選んだ。所属する総社陸上クラブの藤原勇監督は「練習熱心で、運動神経が抜群。すごい逸材だ」と評する。3年のときにクラブ入りし、翌年から走り幅跳びを始めた。週3回クラブで技術を磨く。「走り幅跳びが大好き。これからずっと続けたい」と笑顔で語る。今年は大ごと自己記録を更新している網干くん。当面の目標は、小学校卒業までに日本学童記録を超えること。将来の夢を聞くと「有名な選手になって、オリンピックで優勝したい」と目を輝かせた。

網干 汰一くん（福井）

全国小学生陸上競技交流大会の男子走り幅跳びで優勝



まちたんけん

親子ふれあいプラザ



親子ふれあいプラザは、保護者同士が子育てに関する情報交換をしたり、子どもが友達といっしょに遊んだりする行事や集まりの会場として利用できる施設です。

東部親子ふれあいプラザ（服部幼稚園西隣）、西部親子ふれあいプラザ（消防署西出張所隣）、昭和親子ふれあいプラザ（旧昭和児童館）の3か所があります。いずれもフローリングと畳の部屋があり、流し台と冷蔵庫、絵本などを備えています。

利用できる時間は、午前9時から午後8時までで、子育てに関連する団体やグループを対象に貸し出しています。料金は無料。利用には事前の申し込みが必要です。こども課までご連絡ください。

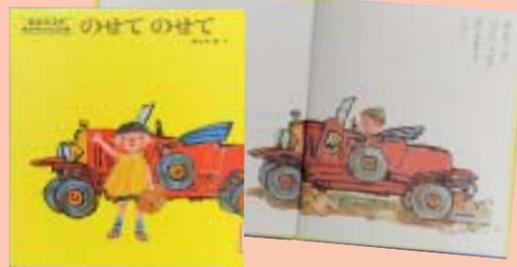
親子クラブや子育てサロンも、この施設を利用しています。このような会に参加して、保護者や子どもの友達づくりをはじめ、子育ての情報交換などを行ってみるのもよいかもしれませんね。気軽に利用してください。

問い合わせ こども課児童保育係（☎92-8265）

今日のテーマ
「文章」

絵本よんで！

『のせてのせて』
松谷みよ子・ぶん 東光寺啓・え 童心社



絵本では、「絵で分かるから」と主語が省かれることがあります。書かれていなくても、その動作を行っているのが「だれ」で、「どうした」のか分かることが大切です。

『のせてのせて』はまず「まこちゃんのだんしゃです はしりますよ」という文章から始まります。このように絵に文章がきちんと対応していると、小さい子どもにも、主語がだれか分かり、おはなしが理解しやすいです。